

平成 29 年 9 月

お客様各位

株式会社 USEN
コンテンツプロデュース統括部
サウンドマーケティング課

「音が残業時間軽減にもたらす効果」研究ご協力をお願い

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私ども USEN では、音(音楽)でより心地よい空間を創造することを目指し、音が人にもたらす効果・効能の研究を行っております。

この度、その研究の一環として、昨今の社会問題にもなっている「企業の長労働時間」改善に対する音の効果を実科学的に立証することを目的とした研究を行うこととなりましたので、その研究フィールドとしてご協力頂く企業様を募集しております。

現在、労働基準監督署が総力を挙げて時間外労働の縮小に努力していますが、基本的に法で制御できるものではなく、多くの企業での自主努力が求められています。労働時間の削減には、個人個人の意識改革が必要であり、まずはその環境を整備することから始まりますが、今回の研究では、その環境整備の一つのツールとして音(音楽)を用いた場合の効果を検証します。オフィスで音を流しオフィスワーカーに気づきを与えることにより、時間外労働時間の短縮に貢献できるのではないかと仮説設定を行っております。

なお、この研究は東海大学医学部 立道昌幸教授との共同研究で行います。立道教授は産業保健をご専門とされており、予防医学の分野の研究でご活躍されています。貴社社員への心身面の負担や倫理面での配慮も十分に考慮した上で行います。また、本研究に必要な放送機器・設備は弊社がご提供致します。

本研究の趣旨にご理解・ご賛同頂き、ご協力を賜れましたら幸甚です。この研究が貴社の健やかな経営の一助となり、将来的に社会への貢献に繋がればと願っております。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが何卒ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

<< 「音が残業時間軽減にもたらす効果」研究調査概要 >>

1. 目的

音で社員に気づきを与えることにより、残業時間軽減に繋がるか、その効果について学術的な調査・研究を行う。

2. 方法

「終業時間に定時退社を促すアナウンス」などの音を流す期間、音を流さない期間を2ヵ月間ずつ2回繰り返し（計8ヵ月間）、その導入前後の効果を測定・検証。残業時間データとアンケート調査結果を評価します。

3. 条件 その他

- ・対象規模（社員数）：50名以上。
- ・調査期間：2017年10月頃～適宜開始。期間は8ヶ月間となります。
- ・効果検証のため、貴社社員の勤務時間データをご提供いただきますが、個人情報のご提供は不要です。
アンケートにご協力をお願いいたします。
- ・今回の調査研究結果は論文にまとめて発表させていただきますが、社名や個人情報を公表することはありません。
- ・調査研究に際して、貴社の金銭的負担は一切ございません。

調査内容に関するお問い合わせ先

株式会社 USEN コンテンツプロデュース統括部 サウンドマーケティング課

Mail : sound@usen.co.jp